

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

**特性方程式を利用する形** $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

**■ 例題**

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

**【1】** 次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 2a_n + 1$

(2)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 2$

(3)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = 2a_n - 3$

(4)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 4a_n + 3$

(5)  $a_1 = -2, \quad a_{n+1} = 3a_n + 4$

(6)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = -2a_n + 3$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

## 特性方程式を利用する形

 $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

## ■ 例題

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

【1】次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 2a_n + 1$

特性方程式  $\alpha = 2\alpha + 1$  を解くと  $\alpha = -1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 1 = 2(a_n + 1)$$

数列  $\{a_n + 1\}$  は、初項  $a_1 + 1 = 2$ 、公比 2 の等比数列であるから

$$a_n + 1 = 2 \cdot 2^{n-1} = 2^n$$

$$\therefore a_n = 2^n - 1$$

(2)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 2$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 2$  を解くと  $\alpha = 1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 1 = 3(a_n - 1)$$

数列  $\{a_n - 1\}$  は、初項  $a_1 - 1 = 1$ 、公比 3 の等比数列であるから

$$a_n - 1 = 1 \cdot 3^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 3^{n-1} + 1$$

(3)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = 2a_n - 3$

特性方程式  $\alpha = 2\alpha - 3$  を解くと  $\alpha = 3$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 3 = 2(a_n - 3)$$

数列  $\{a_n - 3\}$  は、初項  $a_1 - 3 = 1$ 、公比 2 の等比数列であるから

$$a_n - 3 = 1 \cdot 2^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2^{n-1} + 3$$

(4)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 4a_n + 3$

特性方程式  $\alpha = 4\alpha + 3$  を解くと  $\alpha = -1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 1 = 4(a_n + 1)$$

数列  $\{a_n + 1\}$  は、初項  $a_1 + 1 = 2$ 、公比 4 の等比数列であるから

$$a_n + 1 = 2 \cdot 4^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2 \cdot 4^{n-1} - 1$$

(5)  $a_1 = -2, \quad a_{n+1} = 3a_n + 4$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha + 4$  を解くと  $\alpha = -2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 2 = 3(a_n + 2)$$

数列  $\{a_n + 2\}$  は、初項  $a_1 + 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列であるから

$$a_n + 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0$$

$$\therefore a_n = -2$$

(6)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = -2a_n + 3$

特性方程式  $\alpha = -2\alpha + 3$  を解くと  $\alpha = 1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 1 = -2(a_n - 1)$$

数列  $\{a_n - 1\}$  は、初項  $a_1 - 1 = 2$ 、公比 -2 の等比数列であるから

$$a_n - 1 = 2 \cdot (-2)^{n-1} = -(-2)^n$$

$$\therefore a_n = 1 - (-2)^n$$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

**特性方程式を利用する形** $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

**■ 例題**

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

**【1】** 次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n + 2$

(2)  $a_1 = 5, \quad a_{n+1} = 2a_n + 4$

(3)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 4a_n - 6$

(4)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = -2a_n + 9$

(5)  $a_1 = -3, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$

(6)  $a_1 = 0, \quad a_{n+1} = -a_n + 2$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

## 特性方程式を利用する形

 $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

## ■ 例題

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

【1】次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n + 2$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha + 2$  を解くと  $\alpha = -1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 1 = 3(a_n + 1)$$

数列  $\{a_n + 1\}$  は、初項  $a_1 + 1 = 3$ 、公比 3 の等比数列であるから

$$a_n + 1 = 3 \cdot 3^{n-1} = 3^n$$

$$\therefore a_n = 3^n - 1$$

(2)  $a_1 = 5, \quad a_{n+1} = 2a_n + 4$

特性方程式  $\alpha = 2\alpha + 4$  を解くと  $\alpha = -4$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 4 = 2(a_n + 4)$$

数列  $\{a_n + 4\}$  は、初項  $a_1 + 4 = 9$ 、公比 2 の等比数列であるから

$$a_n + 4 = 9 \cdot 2^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 9 \cdot 2^{n-1} - 4$$

(3)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 4a_n - 6$

特性方程式  $\alpha = 4\alpha - 6$  を解くと  $\alpha = 2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 2 = 4(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = -1$ 、公比 4 の等比数列であるから

$$a_n - 2 = -1 \cdot 4^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2 - 4^{n-1}$$

(4)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = -2a_n + 9$

特性方程式  $\alpha = -2\alpha + 9$  を解くと  $\alpha = 3$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 3 = -2(a_n - 3)$$

数列  $\{a_n - 3\}$  は、初項  $a_1 - 3 = 0$ 、公比 -2 の等比数列であるから

$$a_n - 3 = 0$$

$$\therefore a_n = 3$$

(5)  $a_1 = -3, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  を解くと  $\alpha = 2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = -5$ 、公比 3 の等比数列であるから

$$a_n - 2 = -5 \cdot 3^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2 - 5 \cdot 3^{n-1}$$

(6)  $a_1 = 0, \quad a_{n+1} = -a_n + 2$

特性方程式  $\alpha = -\alpha + 2$  を解くと  $\alpha = 1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 1 = -(a_n - 1)$$

数列  $\{a_n - 1\}$  は、初項  $a_1 - 1 = -1$ 、公比 -1 の等比数列であるから

$$a_n - 1 = -1 \cdot (-1)^{n-1} = (-1)^n$$

$$\therefore a_n = 1 + (-1)^n$$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

**特性方程式を利用する形** $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

**■ 例題**

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

**【1】** 次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = 3a_n - 8$

(2)  $a_1 = -1, \quad a_{n+1} = 2a_n + 3$

(3)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + 1$

(4)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + 2$

(5)  $a_1 = 5, \quad 2a_{n+1} = a_n + 3$

(6)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = -3a_n + 8$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

## 特性方程式を利用する形

 $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

## ■ 例題

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

【1】次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = 3a_n - 8$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 8$  を解くと  $\alpha = 4$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 4 = 3(a_n - 4)$$

数列  $\{a_n - 4\}$  は、初項  $a_1 - 4 = 0$ 、公比 3 の等比数列であるから

$$a_n - 4 = 0$$

$$\therefore a_n = 4$$

(3)  $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + 1$

特性方程式  $\alpha = \frac{1}{2}\alpha + 1$  を解くと  $\alpha = 2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 2 = \frac{1}{2}(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = -1$ 、公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列であるから

$$a_n - 2 = -1 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2 - \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$

(5)  $a_1 = 5, \quad 2a_{n+1} = a_n + 3$

式変形すると  $a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + \frac{3}{2}$ 特性方程式  $\alpha = \frac{1}{2}\alpha + \frac{3}{2}$  を解くと  $\alpha = 3$ 

$$a_{n+1} - 3 = \frac{1}{2}(a_n - 3)$$

数列  $\{a_n - 3\}$  は、初項  $a_1 - 3 = 2$ 、公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列であるから

$$a_n - 3 = 2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-2}$$

$$\therefore a_n = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-2} + 3$$

(2)  $a_1 = -1, \quad a_{n+1} = 2a_n + 3$

特性方程式  $\alpha = 2\alpha + 3$  を解くと  $\alpha = -3$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 3 = 2(a_n + 3)$$

数列  $\{a_n + 3\}$  は、初項  $a_1 + 3 = 2$ 、公比 2 の等比数列であるから

$$a_n + 3 = 2 \cdot 2^{n-1} = 2^n$$

$$\therefore a_n = 2^n - 3$$

(4)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + 2$

特性方程式  $\alpha = \frac{1}{3}\alpha + 2$  を解くと  $\alpha = 3$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 3 = \frac{1}{3}(a_n - 3)$$

数列  $\{a_n - 3\}$  は、初項  $a_1 - 3 = -1$ 、公比  $\frac{1}{3}$  の等比数列であるから

$$a_n - 3 = -1 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 3 - \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

(6)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = -3a_n + 8$

特性方程式  $\alpha = -3\alpha + 8$  を解くと  $\alpha = 2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 2 = -3(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = 0$ 、公比  $-3$  の等比数列であるから

$$a_n - 2 = 0$$

$$\therefore a_n = 2$$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

**特性方程式を利用する形** $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

**■ 例題**

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

**【1】** 次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = -a_n + 4$

(2)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = 2a_n - 5$

(3)  $a_1 = 1, \quad 3a_{n+1} = a_n + 4$

(4)  $a_1 = -1, \quad a_{n+1} = 3a_n + 2$

(5)  $a_1 = 6, \quad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n - 1$

(6)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = -2a_n + 12$

解答時間: \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒 得点: \_\_\_\_\_ / 6

## 特性方程式を利用する形

 $a_{n+1} = pa_n + q$  ( $p \neq 1$ ) の形は、特性方程式を利用して等比数列に帰着させる。

- 手順1：特性方程式  $\alpha = p\alpha + q$  を解いて  $\alpha$  を求める。
- 手順2：漸化式を  $a_{n+1} - \alpha = p(a_n - \alpha)$  と変形する。
- 手順3：数列  $\{a_n - \alpha\}$  は、初項  $a_1 - \alpha$ 、公比  $p$  の等比数列となる。

## ■ 例題

$$a_1 = 2, \quad a_{n+1} = 3a_n - 4$$

(解) 特性方程式  $\alpha = 3\alpha - 4$  より  $\alpha = 2$ 。

$$a_{n+1} - 2 = 3(a_n - 2)$$
 と変形できる。

数列  $\{a_n - 2\}$  は初項  $2 - 2 = 0$ 、公比 3 の等比数列。

$$\text{よって } a_n - 2 = 0 \cdot 3^{n-1} = 0 \text{ より } a_n = 2$$

【1】次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 2, \quad a_{n+1} = -a_n + 4$

特性方程式  $\alpha = -\alpha + 4$  を解くと  $\alpha = 2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 2 = -(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = 0$  より

$$a_n - 2 = 0$$

$$\therefore a_n = 2$$

(2)  $a_1 = 3, \quad a_{n+1} = 2a_n - 5$

特性方程式  $\alpha = 2\alpha - 5$  を解くと  $\alpha = 5$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 5 = 2(a_n - 5)$$

数列  $\{a_n - 5\}$  は、初項  $a_1 - 5 = -2$ 、公比 2 の等比数列より

$$a_n - 5 = -2 \cdot 2^{n-1} = -2^n$$

$$\therefore a_n = 5 - 2^n$$

(3)  $a_1 = 1, \quad 3a_{n+1} = a_n + 4$

式変形すると  $a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + \frac{4}{3}$ 特性方程式  $\alpha = \frac{1}{3}\alpha + \frac{4}{3}$  を解くと  $\alpha = 2$ 

$$a_{n+1} - 2 = \frac{1}{3}(a_n - 2)$$

数列  $\{a_n - 2\}$  は、初項  $a_1 - 2 = -1$ 、公比  $\frac{1}{3}$  の等比

数列より

$$a_n - 2 = -1 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

$$\therefore a_n = 2 - \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

(4)  $a_1 = -1, \quad a_{n+1} = 3a_n + 2$

特性方程式  $\alpha = 3\alpha + 2$  を解くと  $\alpha = -1$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 1 = 3(a_n + 1)$$

数列  $\{a_n + 1\}$  は、初項  $a_1 + 1 = 0$  より

$$a_n + 1 = 0$$

$$\therefore a_n = -1$$

(5)  $a_1 = 6, \quad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n - 1$

特性方程式  $\alpha = \frac{1}{2}\alpha - 1$  を解くと  $\alpha = -2$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} + 2 = \frac{1}{2}(a_n + 2)$$

数列  $\{a_n + 2\}$  は、初項  $a_1 + 2 = 8$ 、公比  $\frac{1}{2}$  の等比

数列より

$$a_n + 2 = 8 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-4}$$

$$\therefore a_n = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-4} - 2$$

(6)  $a_1 = 4, \quad a_{n+1} = -2a_n + 12$

特性方程式  $\alpha = -2\alpha + 12$  を解くと  $\alpha = 4$ 

漸化式を変形すると

$$a_{n+1} - 4 = -2(a_n - 4)$$

数列  $\{a_n - 4\}$  は、初項  $a_1 - 4 = 0$  より

$$a_n - 4 = 0$$

$$\therefore a_n = 4$$